

自動車、オートバイ等のブレーキラインのエア抜きが1人で出来ます。
耐久性に優れたアルミダイキャストボディで軽量で取扱いが容易です。
本製品にはブリーダー用アダプターが数種類付属しているだけでなく
フルード用カップも付属しておりますので、他にブリーダーを緩めるレンチが
あればすぐに作業可能です。

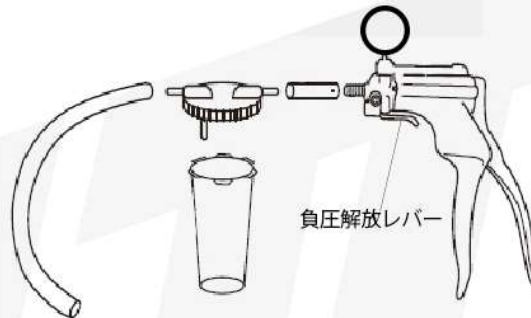
その他にも、バキュームラインのテストを行なう為のアダプターも付属しており
バキュームメーターとしても使用可能です。

※加圧・負圧機能があります。



■作業手順

1. 本体及び各パーツを図のように組み立て
対象物に合ったアダプターをホースに
接続します。



- ・作業に入る前に必ず安全を確保した上で作業を行ってください。
- ・作業は車両のサービスマニュアルに従って確実に行ってください。
- ・ブレーキフルードは塗装を傷めますので、塗装面にかからない様に作業してください。万一かかった場合は、直ちに清水で十分洗い流してください。(キャリパー、フロントフォーク等も同様)
- ・ブレーキフルードがカップに溜まり過ぎると、本体の中にブレーキフルードが入ってしまい、周りに吹き出す恐れがあります。作業する際は、定期的にカップに溜まったブレーキフルードを法令に従って適切に処理してください。
- ・ブレーキフルードは注ぎ足しせずに完全に交換してください。
- ・マスターシリンダー部にゴミが入らないように注意してください。

●所有者・使用者責任

- ・所有者及び使用者は、当該商品を使用する前に、メーカーからの説明書（警告文）をよく読み、理解しなければなりません。自動車や製品の構造及び構成している部分をよく理解し、十分な経験がある人が責任を持って当該商品を使用し、作業を行うようにして下さい。
- ・警告事項は特によく理解するようにして下さい。
- ・所有者及び使用者は、今後の作業の上でメーカーからの推奨事項を常に把握し、維持するように努めて下さい。又、警告ラベル・説明書等については、いつでも読むことが出来るように、大切に保管して下さい。

●使用上のご注意

- ・安全メガネ、安全手袋、安全帽、作業服を着用して下さい。サイズの極端に大きい衣服、ズボン等、巻き込みの恐れがある衣服や作業服は着用しないで下さい。必ず体に合った作業服を着用して下さい。又、長髪の方は紙が巻き込まれないようにして下さい。
- ・誤った使用方法により商品が破損、人体への損傷、物品等の損害が生じた場合、一切の保証、並びに責務は無効となります。
- ・使用する工具の説明書をよく読み、注意事項を守って作業して下さい。

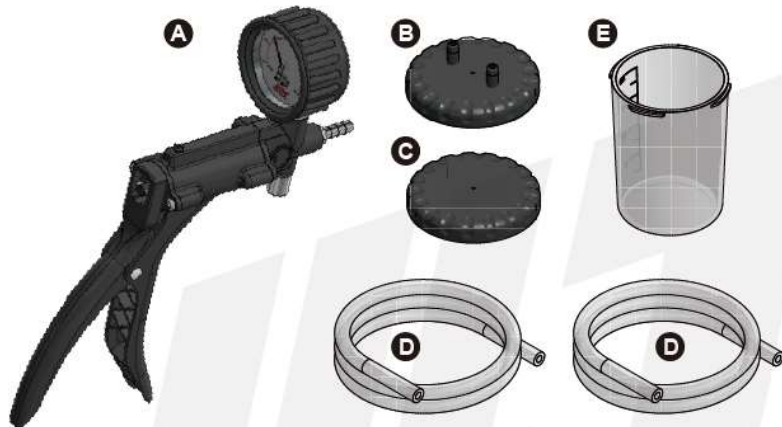
●故障について

- ・故障と思われる場合には、お手数ですがお買い上げの販売店までお問合せ下さい。

1. 特徴

- インテークマニホールドの真空、燃料圧力バルブ、EGR、エアコン、強制空気導入システムなど、動作に圧力または真空を必要とするほとんどのシステムをテストおよび診断するためのキットです。
- 丈夫なナイロンケースと圧力と真空の両方をテストできるゲージを備えたポンプ
- 付属品には、リザーバーボトル、キャップ、ホース、一人でブレーキのエア抜きを行うためのアダプターが含まれます。
- ブレーキブリーダーバルブおよび圧力/真空テスト用のアダプターのパックが付属しております。

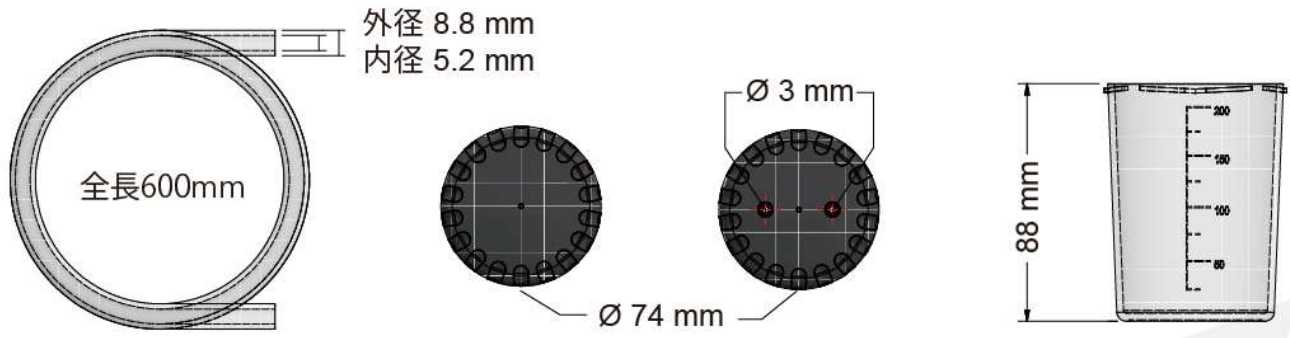
2. 仕様



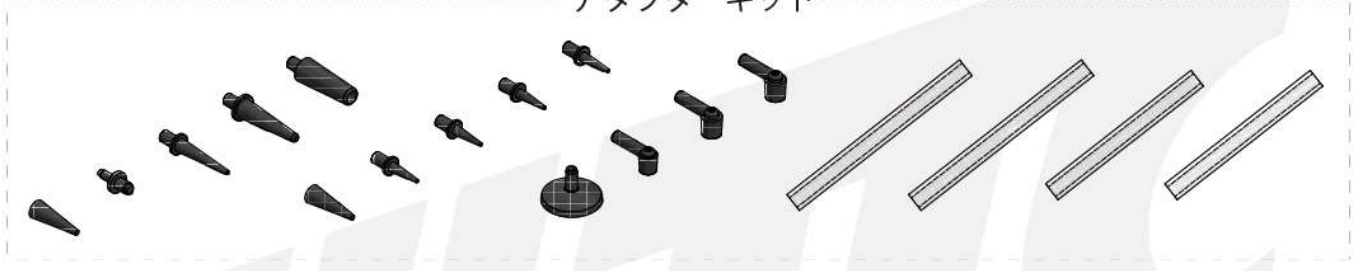
No	各部名称
A	加圧&真空(負圧)ポンプ
B	液体移送用蓋
C	保管用の蓋
D	接続ホース (2本)
E	200 ml リザーバーボトル



$\varnothing 61$ mm
 最大真空度：約100mA 85kPa
 最大圧力：200 kPa



アダプターキット



3. 指示



CAUTION



- ツールを使用する前に、必ず説明書をよく読んでください。
- 作業エリアに適切な照明があることを確認してください。
- 子供や権限のない人を作業エリアから遠ざけてください。
- 作業エリアを清潔で整理整頓し、乾燥した状態に保ち、無関係な物質を置かないようにしてください。
- 訓練を受けていない人にこのツールキットを使用させないでください。
- OSHA および ANSI Z87.1 規格を満たす保護メガネを着用してください。
- ツールを使用するときは常に手袋を着用してください。
- 常に耳の保護具を着用してください。
- 廃棄: 使用済み/廃棄部品の取り扱いについては、お客様は地域の規制に従ってください。

加圧テスト

- 1 加圧テストの場合は切替レバーを 加圧(+) に回します。(図1)
- 2 センサーとエンジンの間の圧力ラインを外します。
- 3 アダプターキットから適切なアダプターおよび/またはホースを選択してください。圧力ライン (図2) とポンプに接続します。
- 4 ハンドルを押し続けて圧力値を読み取ります。
ゲージ上 (図3)
- 5 テストする物の基準値については自動車メーカーのサービスマニュアルを参照してください。
- 6 テスト後はメーター下の圧力解放ボタンを押して圧力を解放します。
ポンプをエンジンから切り離す。



負圧テスト

- 1 負圧テストの場合は切替レバーを下(-)に回します (図4)
- 2 テストするレギュレーターから真空ラインを外します。
- 3 アダプターキットから適切なアダプターおよび/またはホースを選択してください。真空ラインとポンプに接続します。
- 4 ハンドルを押し続けてメーターの圧力値を読み取ります。ゲージ上 (図5)
- 5 テストする物の基準値については自動車メーカーのサービスマニュアルを参照してください。
- 6 ポンプをエンジンから外す前にメーター下の圧力解放ボタン (図6) を押しして真空を解放します。



図4



図5



図6

ブレーキブリーディング

- 1 真空機能を使用するには、切替レバーを下(-)に回します。
- 2 アダプターキットからブレーキ・ブリーダー・バルブに適したアダプターを見つけます。
- 3 一端をポンプに、もう一端をB:液体輸送用蓋に接続します。もう一方のソフトホースをポンプに接続し、もう一方のソフトホースをB:液体輸送用蓋に接続します。もう一方の端にブレーキブリーダーバルブアダプターを接続します。(図7)
- 4 ブレーキ・ブリーダー・バルブ・アダプターを車のブレーキ・ブリーダー・バルブに接続する。(図8)
- 5 ブリーダーバルブを緩めて真空ポンプを作動させて古いブレーキフルードを抜き取ります。(図9)



図7



図8



図9

輸入発売元

JTC Auto Tools 株式会社

E" M : info@jtcautoools.co.jp

FAX : 0834-36-0010